



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 岩崎通信機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6704 URL <https://www.iwatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 彰吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 時田 英典 TEL 03-5370-5111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,016	1.8	△465	—	△432	—	△422	—
2022年3月期第2四半期	10,817	20.6	△283	—	△217	—	△140	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △229百万円（-％） 2022年3月期第2四半期 △36百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△42.49	—
2022年3月期第2四半期	△14.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	35,448	24,892	70.2
2022年3月期	36,441	25,359	69.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 24,892百万円 2022年3月期 25,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	2.2	△400	—	△350	—	△350	—	△35.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	10,080,344株	2022年3月期	10,080,344株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	128,238株	2022年3月期	141,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	9,948,600株	2022年3月期2Q	9,929,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染防止と経済活動の両立が進み、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ危機に起因したサプライチェーンの混乱により半導体部品等の供給不足が継続し、資源・エネルギー価格の高騰及び日米金利差の拡大を背景とした急激な円安の進行に伴い、物流コスト・原材料価格が高止まりとなるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループでは中期経営計画「REBORN」の基本方針に則り、徹底した固定費削減と成長戦略の促進を実現するための抜本的な構造改革を推進しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は11,016百万円（前年同期比1.8%増）、営業損失は465百万円（前年同期は283百万円の営業損失）、経常損失は432百万円（前年同期は217百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は422百万円（前年同期は140百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主に生産子会社における受託生産の売上収益が部材調達難のため減少しましたが、ビジネスホンやコンタクトセンタソリューションの売上収益が増加したことにより、事業全体の売上収益は8,582百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント損益は主に原材料調達コストの上昇等による原価率の悪化により、388百万円の利益（前年同期比25.1%減）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に消耗品の売上収益が前期末の価格改定前の駆け込み需要の反動で減少したことにより、事業全体の売上収益は730百万円（前年同期比6.4%減）、セグメント損益は主に販売費及び一般管理費の減少により、120百万円の損失（前年同期は122百万円の損失）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主に電子部品の売上収益が増加したことにより、事業全体の売上収益は1,435百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント損益は主に売上収益の増加に伴い、39百万円の利益（前年同期比223.8%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、賃貸用不動産の入居率の上昇に伴い収入が増加したことにより、事業全体の売上収益は267百万円（前年同期比26.8%増）、セグメント損益は主に売上収益の増加に伴い、74百万円の利益（前年同期比143.2%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により、予測数値と異なる可能性があります。特に物流コスト・原材料価格の上昇については、価格転嫁を含め、対応を強化していく方針ですが、その進展状況により業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、市場動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927	5,494
受取手形	514	425
電子記録債権	578	654
売掛金	4,555	3,668
商品及び製品	1,732	1,761
仕掛品	725	1,018
原材料及び貯蔵品	3,044	3,530
その他	154	169
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,232	16,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,377	5,282
土地	10,032	10,054
その他(純額)	1,193	1,157
有形固定資産合計	16,603	16,494
無形固定資産		
ソフトウェア	911	715
その他	45	45
無形固定資産合計	956	761
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149	1,139
その他	533	363
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,648	1,468
固定資産合計	19,208	18,724
資産合計	36,441	35,448

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,764	1,507
賞与引当金	520	510
製品保証引当金	65	75
その他	1,925	1,610
流動負債合計	4,275	3,703
固定負債		
繰延税金負債	3,226	3,208
株式給付引当金	56	50
退職給付に係る負債	2,966	3,048
その他	557	544
固定負債合計	6,805	6,852
負債合計	11,081	10,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	11,977	11,305
自己株式	△135	△125
株主資本合計	24,815	24,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304	300
為替換算調整勘定	0	263
退職給付に係る調整累計額	239	174
その他の包括利益累計額合計	544	738
純資産合計	25,359	24,892
負債純資産合計	36,441	35,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	10,817	11,016
売上原価	7,332	7,661
売上総利益	3,484	3,355
販売費及び一般管理費	3,767	3,820
営業損失(△)	△283	△465
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	24	26
出資金運用益	17	—
受取地代家賃	18	18
その他	17	17
営業外収益合計	80	70
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	1	21
保険解約損	—	8
その他	11	5
営業外費用合計	14	37
経常損失(△)	△217	△432
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
補助金収入	64	14
特別利益合計	64	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△414
法人税、住民税及び事業税	24	19
法人税等調整額	△38	△10
法人税等合計	△13	8
四半期純損失(△)	△140	△422
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140	△422

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△140	△422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△4
為替換算調整勘定	13	263
退職給付に係る調整額	29	△65
その他の包括利益合計	103	193
四半期包括利益	△36	△229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36	△229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	8,520	780	1,305	211	—	10,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,520	780	1,305	211	—	10,817
セグメント利益又は損 失(△)	518	△122	12	30	△721	△283

(注) 1. セグメント損益の調整額△721百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△721百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	8,582	730	1,435	267	—	11,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,582	730	1,435	267	—	11,016
セグメント利益又は損 失(△)	388	△120	39	74	△847	△465

(注) 1. セグメント損益の調整額△847百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△847百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。